

令和元年(平成31年) 林業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
31	3	15時台	林業	10人以上 29人	激突され	環境等 7 1 2	民有林皆伐現場において、胸高直径28センチ、長さ約17mのトドマツをチェーンソーで伐倒作業中、くさびを打って伐倒木が倒れていくときに、臺が上部で絡んでいた為に、伐倒方向が変わり、近くで同じくチェーンソー伐倒作業中の被災者の頭部に直撃したものの。
31	4	11時台	林業	10人以上 29人	激突され	環境等 7 1 2	被災者は、民有林内にて同僚1名とともに、チェーンソーを用いて伐木作業を行っていた。被災者が扱っていたチェーンソーの音が聞こえなかったため同僚が捜索したところ、仰向けの状態でクルミの木(胸高直径30cm)の下敷きになっているところを発見したものの。
元	5	15時台	林業	10人以上 29人	交通事故(道路)	乗物 2 3 2	被災者は、道有林の造林現場で当日の作業を終え、帰社するため乗用車で国道を走行していたところ、右側の町道から飛び出してきた来た乗用車が運転席に衝突したものの。なお、助手席の同僚は軽傷。
元	5	14時台	林業	10人以上 29人	激突され	環境等 7 1 2	民有林の皆伐作業現場において、被災者はチェーンソーを用いて伐倒作業中、ナナカマドの木を伐倒したところ、当該伐倒木が被災者側に倒れてきて、被災者の腹部に激突したものの。被災者に激突した伐倒木の胸高直径は18.5cm、樹高16.6mであった。また、伐根に切り残しは無かった。
元	6	14時台	林業	10人未満	墜落・転落	乗物 2 3 2	国有林の間伐作業現場において伐倒作業を行うための道付け作業中、被災者2名が事前調査のため乗用車に乗り林道を走行していたところ、幅約4mの緩やかな左カーブに差し掛かった際、当該車両が道路右脇に逸脱し勾配約50度の崖を約47m転落したものの。被災者は車外に投げ出され、斜面の中腹と転落した車両の脇でそれぞれ倒れているところを下請事業場の労働者に発見された。(被災者は、車両を運転していた。)
元	6	14時台	林業	10人未満	墜落・転落	乗物 2 3 2	同上 (被災者は、助手席に同乗していた。)
元	7	15時台	林業	10人未満	墜落・転落	伐木等機械 1 7 1	被災者は、国有林内において、掘削バケットが付いた車両系木材伐出機械(伐木等機械/フェラーパンチャ)を操作して、支障木を伐倒しながら作業道の造成作業を行っていたところ、勾配約40度の斜面から機械ごと20m程滑り落ち、転落したものの。 被災者は地面と機械のキャビンにはさまれた状態で発見された。

令和元年(平成31年) 林業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
元	12	11時台	林業	10人未満	崩壊・倒壊	環7 境1 等2	被災者は民有林の間伐作業において、かかり木から8m離れたところで、チェーンソーを使用して樹高2.6mのカラマツの伐木作業中に倒れてきたかかり木(カラマツ、樹高2.7m、胸高直径30cm)の下敷きとなったもの。